		令和3年度 鎌	ケ谷市事務事業	くさい くくく くんしゅく くんしゅう くんしゅう くんしゅう くんしゅう くんしゅう くんしゅう くんしゅう はいしゅう しゅう しょく しゅうしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう	事後)	(標準部	平価表))					
	ケ市光々	# 1# #4 JV	1+#*# -> -5 - 4	、	51 - AS -	トフ 4マ 津	<u>.</u>	会計	款	項	目	多額 経費	
事物	务事業名	生涯字 省	'推進センター <i>0</i>	アは、	日二安 9	の栓貨	Ĩ.	一般	10	4	2	1230	
	政策	生きがいのあ	る暮らしができ	きる生涯学習社会をつくります _{担当課室} 生活						生涯学習推進課			
	施策	ı	いきいきとしたら	生涯学習の推進 超調 岩松昌弘									
I 改革	・改善内容(=	=事務事業をよ	り良く実施する	ための方策)									
①のでたける ②①にく 基取結果	するため、掲で魅力あるが 適正な施設管味を持って学りによる掲示	でに対応した学行 示物等の工夫を 記選営を行う。 管理を行うと共同 習情報を収集 物や装飾を行った	③令和 度に取 改革・ 内容	組む	「るため 、コロ・ (底し、	学習情報や学習方法をめ、掲示物等の工夫をコナ禍における感染症対、安全で快適な魅力のあまたう。							
Ⅱ事務	事業の目的・ 												
①目的	対象	一般市民 関係機関職員		意図(対象するのか)	をどう	活力の	ある生	E涯学	習社	会の	実基	見	
②事務事	事業の概要	生涯学習施設(の供用及び生涯	王学習情 輔	日の提信	#							
③環境分析(事業開始 からの状況変化や今後の 見込み・市民意向など) 自己実現の場として、さらには社会参加への機会の場として、学習意欲の多様化						化							
Ⅲ 事務	事業の成果や	ウコストの状況				= .			\				
①令和2 の成果	①令和2年度の事業 の成果 快適に施設利用ができるよう 習情報を収集できるよう手作 た。												
		15 ₀			- 1,12		13. (, — ···			<i></i>	1, 2	
②成果			票名称	平成30年度	令和元年度	令和2 年度	単位		算足	定根		11.5	
②成果 を表す	i	指 生涯学習推進	センター利用件	年度数 1,904	令和元 年度 1,565	年度	単位件	業務耳	仅得	定根		13.0	
	i ii	指 生涯学習推進 インターネッ	センター利用件 トアクセス件数	年度 数 1,904 238,814	令和元 年度 1,565	年度 861	<mark>単位</mark> 件 件	業務軍業務軍	又得 又得	定根		113	
を表す指標	iii	指権 生涯学習推進 インターネッ インターネ	センター利用件 トアクセス件数 ット予約件数	年度 数 1,904 238,814 13,470	<mark>令和元</mark> 年度 1,565 15,579	年度 861 17,347	<mark>単位</mark> 件 件	業務耳 業務耳 業務耳	以得 以得 以得		処		
を表す 指標 ③事務事	iii 事業のコスト	指 生涯学習推進 インターネッ インターネ 令和元年度決算	センター利用件 トアクセス件数 ット予約件数 令和2年度決算	年度 数 1,904 238,814 13,470 令和2年月	令和元 年度 1,565 15,579 注決算 (年度 861 17,347	単位 件 件 件	業務耳 業務耳 業務耳	以得 以得 以得		则 	予算	
を表す 指標 ③事務事 事業費(=	iii 事業のコスト 千円)	指権 生涯学習推進 インターネッ インターネ	センター利用件 トアクセス件数 ット予約件数 令和2年度決算	年度 数 1,904 238,814 13,470 令和2年月	令和元 年度 1,565 15,579 (決算)	年度 861 17,347 事業費	単位 件 件 件 内容	業務耳 業務耳 業務耳 な内訳	以得 以得 以得		则 		
を表す 指標 ③事務 事業費(= 国支出	iii 事業のコスト 千円) 出金(千円)	指 生涯学習推進 インターネッ インターネ 令和元年度決算	センター利用件 トアクセス件数 ット予約件数 令和2年度決算	年度 数 1,904 238,814 13,470 令和2年月	令和元 年度 1,565 15,579 (注) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表)	年度 861 17,347 事業費 使用米	単位 件 件 件 内容	業務耳 業務耳 業務耳 な内訳	以得 以得 以得		则 	予算	
を表す 指標 ③事務事 事業費(- 国支出 県支出	iii 事業のコスト 千円)	指 生涯学習推進 インターネッ インターネ 令和元年度決算	センター利用件 トアクセス件数 ット予約件数 令和2年度決算	年度 数 1,904 238,814 13,470 令和2年月	令和元 年度 1,565 15,579 (三) 6,676 7,962	年度 861 17,347 事業費	単位 件 件 件 (件 内容 け及び	業務耳 業務耳 業務耳 な内訳	以得 以得 以得		则 	予算	
を表す 指標 事業費(= 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 も 事 も 。 も も も も も	iii 事業のコスト 千円) 出金(千円) 出金(千円)	指 生涯学習推進 インターネッ インターネ 令和元年度決算	センター利用件 トアクセス件数 ット予約件数 <mark>令和2年度決算</mark> 33,330	#度 数 1,904 238,814 13,470 令和2年度 金額(日	令和元 年度 1,565 15,579 (支) ((-円) (6,676 7,962 10,340	年度 861 17,347 事業費 使用料 報酬	単位 件 件 件 内容 内容	業務耳 業務耳 業務耳 な内訳	以得 以得 以得		则 	予算	
を表す 指標 事業費(= 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 事 も 事 も 。 も も も も も	iii 事業のコスト 千円) 出金(千円) 出金(千円) その他(千円) 対源(千円)	指標 生涯学習推進 インターネッ インターネ 令和元年度決算 32,395	センター利用件 トアクセス件数 ット予約件数 <mark>令和2年度決算</mark> 33,330	#度 数 1,904 238,814 13,470 令和2年度 金額(日	令和元 年度 1,565 15,579 (支) ((-円) (6,676 7,962 10,340	年度 861 17,347 事業費 使用料 報酬 需用費	単位 件 件 件 内容 内容	業務耳 業務耳 業務耳 な内訳	以得 以得 以得		则 	予算	
を表標 事費(三十二十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十	iii 事業のコスト 千円) 出金(千円) 出金(千円) その他(千円) 対源(千円) i・検討 目的に対す	指標 生涯学習推進 インターネッ インターネ 令和元年度決算 32,395	センター利用件 トアクセス件数 ツト予約件数 令和2年度決算 33,330 33,330 める学習情報や	#度 数 1,904 238,814 13,470 令和2年度 金額(日	令和元 年度 1,565 15,579 (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表)	年度 861 17,347 事業費 使用料 報酬 需用費 委託料	単位件件件の方容がある。	業務軍業務軍業務軍業務軍業務軍業務軍業務軍業務軍業	又得 又得 マライ	回3年	<mark>処</mark> 31	<mark>予算</mark> 1,587	
を表標 事費支出 事業 事業 事業 事業 事業 事業 事業 事業 事業 事業 事業 事業 事業	iii 事業のコスト 千円) 出金(千円) 出金(千円) その他(千円) 対源(千円) i・検討 目的に対す	指標 生涯学習推進 インターネッ インターネ <mark>令和元年度決算</mark> 32,395 32,395 年々市民の求め 学習情報を提供 i 市関与の妥当性	センター利用件 トアクセス件数 ・ツト予約件数 令和2年度決算 33,330 33,330 める学習情報や 共するため、ニー	#度 数 1,904 238,814 13,470 令和2年度 金額(日	令和元 年度 1,565 15,579 (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表)	年度 861 17,347 事業費 使用料 報酬 需用費 委託料	単位件件件の方容がある。	業務軍業務軍業務軍業務軍業務軍業務軍業務軍業務軍業	双得 令和 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	口3年 ぐに対	<mark>処</mark> 31	予算 1,587 した	
を 指標 事費 国県市一般 で で で で で で で で で で で で で	iii 事業のコスト 千円) 出金(千円) 出金(千円) その他(千円) 対源(千円) i・検討 目的に対す	指標 生涯学習推進 インターネッ インターネ 令和元年度決算 32,395 32,395 年々市民の求め 学習情報を提信 i 市関与の妥当性 ii 有効性 多様な学習ニー	センター利用件 トアクセス件数 ・ツト予約件数 令和2年度決算 33,330 33,330 める学習情報や 共するため、ニー 3高い	年度 数 1,904 238,814 13,470 令和2年度 金額(子 学習方法 一ズの平性 iv 効率性 は 対率性	令和元年度 1,565 15,579 決算(円) 6,676 7,962 10,340 5,904	年度17,347事業使報酬素託またまたはより3高い	単位 件件件 件の主 対及び動	業務取工業務の事業を表現である。	文得 文得 へん マープ・マープ・マープ・マープ・マープ・マープ・マープ・マープ・マープ・マープ・	103年 でに対	処 31 対応 査・	予算 I,587 した 検証	
を 指標 事費 国県市 一部 説明 で 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	iii 事業のコスト 千円) 出金(千円) 出金(千円) さの他(千円) 対源(千円) i・検討 目的に対す にど)	指標 生涯学習推進 インターネッ インターネ 令和元年度決算 32,395 32,395 年々市民の求め 学習情報を提信 i 市関与の妥当性 ii 有効性 多様な学習ニー	センター利用件 トアクセス件数 ・ツト予約件数 令和2年度決算 33,330 33,330 める学習情報や 共するため、ニー 3高い ーズに対し、これ の向上を図る必要	年度 数 1,904 238,814 13,470 令和2年度 金額(子 学習の理想 iii 公平性 iv 効率性 まであるた	令和元年度 1,565 15,579 を決算 (-円) 6,676 7,962 10,340 5,904 は 多様屋 してい こめ。	年度17,347事業使報酬素託またまたはより3高い	単位 件件件 件の主 対及び動	業務取工業務の事業を表現である。	文得 文得 へん マープ・マープ・マープ・マープ・マープ・マープ・マープ・マープ・マープ・マープ・	103年 でに対	処 31 対応 査・	予算 I,587 した 検証	
を 表標 事費 事業 国 県市 一 課 現 で 記 で で の で の の の の の の の の の の の の の の	iii 事業のコスト 千円) 出金(千円) 出金(千円) さの他(千円) 対源(千円) i・検討 目的に対す にど)	指標 生涯学習推進 インターネッ インターネ <mark>令和元年度決算</mark> 32,395 32,395 年々市民の求め 学習情報を提修 i 市関与の妥当性 ii 有効性 多様な学習ニーせ、サービスの	センター利用件 トアクセス件数 ・ツト予約件数 令和2年度決算 33,330 33,330 める学習情報や 共するため、ニー 3高い ーズに対し、これ の向上を図る必要	年度 数 1,904 238,814 13,470 令和2年原金額(円 学ズ、公平性では、対象である達成状	令和元 年度 1,565 15,579 (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表)	年度86117,347事東田州田託世3高事事東京額	単位件件件の方でである。大切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一	業務務軍工業が大力に対している。	日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	和3年 6精 組み・	処	予算 I,587 した 検証	
を指 事業 国 県 市 一 課 現 ま で 、 は る 2 3 V の る 2 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1 0 1	iii 事業のコスト 千円) 出金(千円) 出金(千円) との他(千円) が源(千円) で検討 目的に対す にど)	指標 生涯学習推進 インターネッ インターネ <mark>令和元年度決算</mark> 32,395 32,395 年々市民の求め 学習情報を提修 i 市関与の妥当性 ii 有効性 多様な学習ニーせ、サービスの	センター利用件 トアクセス件数 ・ツト予約件数 令和2年度決算 33,330 33,330 める学習情報や 共するため、ニー 3高い ーズに対し、これ の向上を図る必要	年度 数 1,904 238,814 13,470 令和2年原金額(円 学習の把制 iii 公平性iv 効率性いまがあるためであるためであるためであるためであるためであるためである。	令和元 年度 1,565 15,579 (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表)	年度86117,347事使報票使報票化方高高3高高ま要要	単位件件件の方でである。大切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一	業務務取ります。 業務務取ります。 業務務取ります。 ままずる。	マスマスマスマスマスマスマスマスマスマスマスマスマスマスティー でいます では ファイン アロ・アロ・アロ・アロ・アロ・アロ・アロ・アロ・アロ・アロ・アロ・アロ・アロ・ア	103年 (ご文 6精 組み 千円	処	予算 I,587 した 検証	
を指3事IV1の3事国県市一部国界IV課日本3日本日本4日本日本5日本日本5日本日本6日本日本7日本日本8日本日本9日本日本10日本日本11日本日本12日本日本12日本日本13日本日本14日本日本15日本日本16日本日本17日本日本18日本日本17日本日本18日本日本19日本日本10日本日本10日本日本11日本日本12日本日本13日本日本14日本日本15日本日本16日本日本17日本日本17日本日本18日本日本18日本日本19日本日本19日本日本10日本日本日本11日本日本日本12日本日本日本12日本日本日本12日本日本日本12日本日本日本13日本日本日本13日本日本日本14<	iii 事業のコスト 千円) 出金(千円) 出金(千円) との他(千円) が源(千円) で検討 目的に対す にど)	指標 生涯学習推進 インターネッ インターネ <mark>令和元年度決算</mark> 32,395 32,395 年々市民の求め 学習情報を提修 i 市関与の妥当性 ii 有効性 多様な学習ニーせ、サービスの	センター利用件 トアクセス件数 ・ツト予約件数 令和2年度決算 33,330 33,330 める学習情報や 共するため、ニー 3高い ーズに対し、これ の向上を図る必要	年度 数 1,904 238,814 13,470 令和2年原金額(円 学習の把制 iii 公平性iv 効率性いまがあるためであるためであるためであるためであるためであるためである。	令和元 年度 1,565 15,579 (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表) (表)	年度86117,347事東東東まま	単位件件件の方でである。大切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一	業務務軍工業が大力に対している。	ママママ 一。 価を ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	13年 (に対 6精 組み・ 千 算 から)	処	予算 I,587 した 検証	

		令和3年度 鎌	ケ谷市事務事	業部	平価表(事後)	(標準詞	平価表)					
事系	务事業名	<u> 4</u>	生涯学習推進せ	シ	ター改作	多事業			会計	款	項	目	多額経費	
									一般	10	4	2	0	
	政策	生きがいのあ	る暮らしができ 	きる生涯学習社会をつくります				生涯学習推進記						
	施策		いきいきとした生涯学習の推進					≝≝ 岩松昌弘						
	•改善内容(=	=事務事業をよ	り良く実施する	たと	<u>りの方</u> 領	〔								
①前所でたりです。 のであります。 のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	で掲げ 水設備の改修工事を行う。 た内容 ②①に 基づく 生涯学習推進センターの電気設備及び給 取組み 水設備の改修工事を行った。			③令和3年 度に取組む 改革・改善利用者が安全かつ快適に利 るよう、点検・週修繕等の管										
	事業の目的・	概要												
①目的	対象	生涯学習活動	を行う市民		図(対象 るのか)	をどう	改修0)実施(こより珍	環境で	を安	全か	つ快	
②事務事	事業の概要	生涯学習推進センターの電気設備及び給水設備の改修工事を行う。												
からの状況 見込み・市	↑析(事業開始 品変化や今後の i民意向など)	施設の老朽化	に伴い、今後も	改值	修工事に	ま必要	である	と予想	される。	Þ				
Ⅲ 事務	Ⅲ 事務事業の成果やコストの状況													
①令和2 の成果	2年度の事業	生涯学習推進	センターの電気	.設·	備及び	給水設	(備の改	修工	事を行っ	った。				
②成果			票名称		平成30 年度	令和元 年度	令和2 年度	単位		算定	と根:	拠		
を表す	i	エ	事件数		0	0	1	件	業務耳	仅得				
指標	iii													
③事務事	業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令	和2年度	き決算(事業費	<u>(</u>)の主	な内訳	令₹	□3年	·度-	予算	
事業費(-	千円)	0	14,179		金額(千	-円)		内容					0	
	出金(千円)						委託米							
	出金(千円) その他(千円)			\vdash		12,342	工事語	貝貝貝						
	<u>け源(千円)</u>	0	14,179	\vdash										
IV 評価			,. 70											
①課題(る現状な	目的に対す (ど)	施設の老朽化 れていない多額										置付	けら	
②評価	□ 月郊性		3高い	iv	公平性効率性		3高い 3高い		v 総合			1終		
·	平価の理由	施設の老朽化備の改修についる	いては終了した	1=8	め。		欠であ	るが、	電気設	備及	とびま	給水	設	
Ⅴ 多額	の経費を要す	る事業等の「実		ける			ద = **	進る出						
①令和2	2年度の計画	生涯学習推進 気設備及び給				予算額		状況(単位;千円) ┃ 決算額						
②計画に	対する事業実績	予定どおり実施	<u> </u>		07.000	00.45	D1 → D2編載	27,080 0	14.1=0	R1が の約	から 繰越		0	
②達は小	±2□		7	1	27,080	26,404	14-	 	14,179			 		

0

14,179

R1⇒R2繰越 補正

流用·充当

令和3年度への繰越額(単位;千円)

0

-676

現年分

完了

③達成状況

④未完了・非着手の理由

	令和3年度 鎌ケ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)											
事務	務事業名	学習	センターの管理	関連営に要	要する経	隆費		会計	款	項		多額 経費
								一般	10	4	3	
	政策	生きがいのあ	る暮らしができ	る生涯学	習社会	をつくし	ります	担当課室	生涯	手学	習推:	進課
	施策	l	いきいきとしたら	:生涯学習の推進								
	・改善内容(=	=事務事業をよ	り良く実施する	ため <u>の方</u> :	策)							
①前回 の評価 で掲げ た内容 ②①に	事業を実施でき併せて、学習成	の学習ニーズに対るよう関係機関との まの還元方法につ エ夫につとめる。)連携を深める。	③ 令和 度に即 改革・	収組む	の学習 事業を	ョニース と実施で	あっても多様化する市民 -ズに対応した魅力ある 近できるよう関係機関との うる。併せて、学習成果の こついて、地域を盛り上げ エ夫に努める。				る との
基づく取組み結果	民との協働にめた。	マーでは、関係機工よる事業運営(内容	W E	還元力	方法につ					
Ⅱ事務	事業の目的・	概要										
①目的	①目的 対象 一般市民			意図(対象するのか)		活力を	5る生涯	王学習	社会	の実	現	
②事務事	事業の概要	コスト削減のた 有効性を高める	め、人員体制さ る。	ち事業の記	枚善を行	テいつつ	O、地垣	ばの学習	習拠.	点と	して	の
からの状況見込み・市	③環境分析(事業開始 学習サークルへの参加や、3 からの状況変化や今後の 見込み・市民意向など) 推測される。											
Ⅲ 事務	事業の成果や	やコストの状況		• alla acces s								
①令和2 の成果	生度の事業	民との協働を保	-では、魅力ある 足進し、専門の記 この拡大防止の	講師を招い	いた講座	Eや研修	多会を3	企画した				
②成果		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	票名称	年度	令和元 年度	年度	単位	.II. =£ =		定根:	拠	
を表す	i		構座参加者数 投利用者数		16,883 241,887	714	<u> </u>	業務軍業務軍				
指標	iii	延 、心思	区刊用日 奴	290,691	241,007	110,803		未伤中	<u>以1寸</u>			
③事務事	•••	令和元年度決算	令和2年度決算	令和2年	度決算(事業費)の主	な内訳	令和	口3年	三度 ⁻	予算
事業費(-		89,576	87,330		千円)		内容					3,110
7 17 11	出金(千円)				87,330	市内5館の	管理運営に	要する経費				
	出金(千円)											
	その他(千円)	00.570	07.000								100	3,110
IV 評価	オ源(千円) ▶ 檢討	89,576	87,330								100	0,110
	目的に対す	市民の求める	学習情報や学習 められる。	男方法は多	る様化し	ている	。こうし	ノたニー	-ズに	こ応	える	講
2評価		i 市関与の妥当性 ii 有効性		iii 公平性iv 効率性		3高い 3高い		v 総合	評価	6精	査∙	検証
③上記評	平価の理由		習の拠点として					きる講点	座内	容σ	立刻	案を
V 多額	の経費を要す	「る事業等の「実	『施計画』におけ									
①令和2	2年度の計画			計画事業費	3和2年 	度事業 予算額		況(単		千円 算額		
②計画に対	対する事業実績				_	当初 R1⇒R2繰越			R17	から _{操越}		
③達成物	犬況				0	補正		0	租名	手分		
④未完了·	・非着手の理由			令和3年度への)繰越額(単	流用·充当 位;千円)			-坎-1 	十刀		

令和3年度 鎌ケ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)								
事務事業名	会計	款	項	目	多額 経費			
予切 争未省	学習センター等改修事業	一般	10	4	3	0		
政策	生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	担当課室	生涯学習推進			進課		
施策	担当課室長	岩松		弘				
I 改革·改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)								
①前回 の評価 東部学習センターの外壁・屋上防水工事								

で掲げ 及び空調設備改修工事設計委託を行う。 た内容 2115 東部学習センターの外壁・屋上防水工事 基づく 及び空調設備改修工事設計委託を行っ 取組み た。 結果

3令和3年 度に取組む 改革·改善 内容

平成30 令和元 令和2 年度 年度

単位

算定根拠

東部学習センターの外壁・屋上防水 工事及び空調設備改修工事を行 う。

Ⅱ 事務事業の目的・概要

①目的	対象	一般市民	意図(対象をどう するのか)	改修の実施により施設の環境悪化 を防ぎ、環境の快適化により施設の 利用促進に資する。			
②事務事	事業の概要	市内の学習センターのうち、東部学習センターの外壁・屋上防水工事及び空調設 備改修工事に伴う設計委託を行う。					
からの状況	分析(事業開始 記変化や今後の 「民意向など)	市内各学習センターが老朽化 れる。	しているため、今	後も改修工事は必要であると予想さ			

Ⅲ 事務事業の成果やコストの状況

①令和2年度の事業 東部学習センターの外壁・屋上防水工事及び空調設備改修工事設計委託を完了し の成果 た。

指標名称

1	小火木					- IX	- IX	T/X			
ŧ	表す	i	エュ	工事件数			0	0 件 業務			汉得
扌	指標 ii										
		iii									
	事務事	事業のコスト	令和元年度決算	令和2年度決算	令和	2年月	ま決算(事業費	()の主	な内訳	令和3年度予算
哥	業費(-	千円)	0	8,858	金:	額(千	円)		内容		90,682
	国支出	出金(千円)					8,858	委託料	4		2,836
	県支出	出金(千円)									
	市債を	その他(千円)									78,300
	一般則	才源(千円)	0	8,858							9,546

Ⅳ 評価・検討

②成里

①課題(目的に対す |施設の老朽化に伴い、修繕箇所の増加が予想される。大規模改修には位置付けら る現状など) れていない多額の費用のかかる修繕について、取り扱いの検討が必要。

i 市関与の妥当性 3高い iii公平性 3高い v総合評価 6精査・検証 ②評価 3高い iv 効率性 3高い ii 有効性 施設の老朽化に伴う計画的な改修は必要不可欠であり、市民の生涯学習の場を安

③上記評価の理由 定的に提供するため。

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①会和2年度の計画	東部学習センターの外壁・屋上防水工事及び空調設備改	令和2年度事業費の状況(単位;千円)							
1 1 7 和 2 平 及 0 計 圖		計画事業費	予算額			決算額			
②計画に対する事業宝績	改修工事設計委託のみ完了			当初	0		R1から	0	
	以修工事政司安记0007元]	22.456		R1⇒R2繰越	0	8.858	の繰越	· ·	
③達成状況	未完了	22,430	22,430	補正	22,456	0,000	現年分	0.050	
④未完了·非着手の理由	改修工事は令和3年度に繰			流用·充当	0		5 47	8,858	
サイボ 」・ 非有十の理由	り越して実施するため	令和3年度への	繰越額(単	位;千円)				12,650	

		令和3年度 鎌	ケ谷市事務事績	業評	価表(事後)	(標準部	平価表)				
事系	8事業名		図書館蔵書∙∶	咨坐	敷借]	直坐			会計	款	項	目	多額 経費
- - 10	カチネつ		四目如成目。	只 作	T IE 1/HI -	+ *			一般	10	4	4	0
	政策	生きがいのあ	る暮らしができ	る生	上涯学	習社会	をつくり	ます	担当課室	生》	王学習	り 単:	進課
	施策	ı	いきいきとしたら	生涯学習の推進					担当課室長	岩村	公 [弘	
		=事務事業をよ		ため	の方気	〔 〕							
①前評場内容 ②①でたり ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② ② 取組果	に対応した資書学校配達事 する資料収集 学校の各種事 行った。また校が必要とす 保を行った。	三世の大学にある。			求めて	いる資	いて図 【料二- D資料:	-ズ	を把	握し	か		
Ⅱ事務	事業の目的・	概要											-
①目的	対象	図書館利用者			図(対象 るのか) ———	をどう			^{兼な二−} 枓の質				
②事務事	事業の概要	 多様化▪高度化 	とする学習欲求	に対	が応する	るため、	図書館	官資料•	蔵書の)充	実を	図る	0
③環境分析(事業開始 昭和49年10月に条例を設置し業務を開始、その後昭和52年に市役所旧庁: からの状況変化や今後の 移転し、昭和62年に現在地に図書館本館を建設した。また、利用者がより身治 利用できるよう五つの分館を整備した。今後も、本館・分館の資料の充実を図 事務事業の成果やコストの状況					身近	1=							
①令和2 の成果	年度の事業	一般図書5,633 書数は、305,96	冊、児童図書2 67冊となった。	,295	5冊、視	.聴覚資	登料131	点を購	入し、 [·]	令和	2年	度σ)蔵
②成果			票名称		平成30 年度	令和元 年度	令和2 年度	単位			定根	処	
を表す	i		書数		303,624			<u></u>	業務耳				
指標	ii iii		·購入数 ·貸出数	7,849 8,132 386,476 352,577				1110	業務 業務				
③		令和元年度決算									∏3在	· 使 ·	予質
事業費(-		15,499	15,500		<u>·语···/·/···</u> 金額(千			内容	0-1 1µ/ (13	до 1		,500
	出金(千円)						一般図書		5,633 Ⅲ				
	出金(千円)					-	児童図書		2,295∰				
	その他(千円)	45.400	45 500			1,095	視聴覚資	料購入	131点			4 -	· E00
<u> </u>	オ源(千円) ■ 検討	15,499	15,500									15	,500
	目的に対す	様々な分野に	おいて図書、視	聴覚	創資料(の充実	が求め	られて	いる。				
 ②評価		i 市関与の妥当性	3高い		公平性		3高い		v 総合	=ग./ ऋ	6準	本.	—— 検証
℃ 計Ⅲ ————			3高い		効率性		3高い						
	呼価の理由	収集について料	化するニーズに 情査・検証が必	要で	ぎあるた	:め	►種分	野に及 	ぶ図書 	· 、	 	[資	料の
V 多額	の経費を要す	「る事業等の「実	『施計画」におり	ける									
①令和2	2年度の計画	図書資料の購	入	令和2年原		■度事業費の状 予算額		況(単		千円 算額			
②計画に対	対する事業実績	資料収集基準 視聴覚資料をi	に基づき図書・ 異定、購入					15,500		R1	から 繰越		
③達成物	大 況	元心兄員杯ご		1	15,500	15,500	補正		15,500		年分	1 -	5,500
企士中フ	サート						流用·充当			元-	十刀	'`	,,,,,,,,,

0

④未完了・非着手の理由

令和3年度 鎌ケ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	図書館改修事業	会計	款	項	目	多額経費
学 勿学未 つ	四百如以炒于木	一般	10	4	4	0
政策	政策 生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります				冒推	進課
施策	担当課室長	岩柱		弘		

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回 の評価 で掲げ た内容	適正に施設の管理運営を行い、次年度以 降の改修の考え方について取りまとめを 行う。
②①に 基づく 取組み 結果	総合基本計画、第1次実施計画策定に伴い今後の建物、設備の修繕の考え方を取りまとめた。

③令和3年 度に取組む 改革・改善 内容

コロナ対応の設備改修工事として、 トイレ手洗い場の自動水洗化等の 工事を行う。

Ⅱ 事務事業の目的・概要

①目的 対象		ᆝᇰᆝᆂᄡᆒᆔᄼ	意図(対象をどうするのか)	適正な施設管理運営により、快適な 施設利用環境を提供する。
②事務事	事業の概要	図書館の利用利便性の向上や行う。	や、長寿命化を目	的として建物、設備等の改修工事を
からの状況	が析(事業開始 記変化や今後の 民意向など)	昭和62年4月開館以来35年 等の改修工事が必要になる。	が経過しており、	今後老朽化した建物の外壁やトイレ

Ⅲ 事務事業の成果やコストの状況

①令和2 の成果	年度の事業	なし

2	成果		担保石彻			平成30 丰度		令和2 年度	単位	算定根拠		
を 指	表す	i	工事件数			1	2	0	件	業務取得		
		ii	必	必要箇所		1	2	0	箇所	業務耳	[文得]	
		iii	延べる	延べ利用人数		17,509	105,501	75,745	人	業務耳	な得 アイス	
3	③事務事業のコスト		令和元年度決算	令和2年度決算	令和	02年度	を決算 (事業費)の主7	な内訳	令和3年度	予算
事業費(千円		千円)	20,272	1,485	金	額(千	山 (内容			9,900
	国支出金(千円)			332	1,485		設計委託			2,224		
	県支出金(千円)											
	市債その他(千円)			900								7,600
	一般則	す源(千円)	20,272	253						·		76

Ⅳ 評価・検討

①課題(目的に対す る現状など) 建物、設備の経年劣化に伴う改修が必要である。								
②評価	i 市関与の妥当性 ii 有効性	3高い 3高い	iii 公平性 iv 効率性	3高い 3高い	v 総合評価	6精査・検証		
③上記評価の理由 適正に管理運営を実施し、利用者に快適な施設利用環境を提供するた								

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

▼ 夕頃の性質で安する事業寺の「大旭山岡」にの「る住域がが									
①令和2年度の計画	トイレ自動水洗等改修工事	令和2年度事業費の状況(単位;千円)							
① 7 何2 千皮の計画	設計委託及び、工事	計画事業費	予算額			決算額			
②計画に対する事業実績	記計委託 未完了	11,430	11,430	当初	0	1,485	R1から	0	
				R1⇒R2繰越	0		の繰越	U	
③達成状況				補正	11,430		現年分	1,485	
	業者手配の関係で、工期内 の完了が見込めないため			流用・充当	0				
4 木元」・非眉子の珪田		令和3年度への繰越額(単位;千円)			9,9				